

重点目標一覧表

担当部局名	商工観光部
-------	-------

【平成30年度重点目標】

【令和元年度重点目標】

重点目標	地方創生に向けた地域産業の活性化と地域未来投資の取組支援	重点目標	地方創生に向けた地域未来投資の促進と地域産業の活性化	
具体的な重点取組項目(簡条書き)	達成状況・達成度	具体的な重点取組項目(簡条書き)	期限・数値目標等	
1	<p>①東信州広域連携による次世代産業創出支援</p> <p>②意欲ある中小企業のきめ細かな経営支援</p> <p>③信州上田ブランドのブランディング促進</p> <p>④関係機関との連携等による実態把握及び支援</p> <p>⑤企業の設備投資、地域未来牽引事業の促進</p>	<p>①東信州次世代イノベーション戦略、開発プロジェクト立上げ:健康医療分野1件、農業分野1件、HP・LINEによる情報発信:随時、ものづくりパートナーフォーラム開催:1回、人材育成事業(技術講演会・セミナー):38回、人材確保事業:4回、大学知財群を活用した研究シーズとのマッチング会:1回、中核企業見学会:2回、首都圏・地元企業とのマッチング:18回、トップセミナー:2回、エリア内コーディネート連絡会議:4回</p> <p>②迅速かつ返済負担軽減で資金調達できる制度融資メニューの新設・新規開業資金利用対象者の拡大、3商工団体連携事業(共同出展5回、域内外マッチング等100件)、販路拡大補助金35件、ものづくり相談体制共同出展:2回、専門家派遣:8社(21回)、ものづくり補助金等申請支援:18件、産金官連携事業による新分野等進出支援:4件、融資実行:213件</p> <p>③ブランディング支援事業:7件(農民美術、野菜スープ、アップルティ、上田産大豆商品、上田産桑の実商品、信州クラフトパック、川魚使用イタリアン開発と上田鯉養殖)、さいたま市との連携によるイベント開催:1回、三井住友銀行東館(東京都千代田区)で市産品の販売・PR実施:1回</p> <p>④AREC・イノベーションセンターと県内5金融機関との包括連携協定締結、地域未来投資促進法に基づく東信州連携支援計画策定、商工会議所・金融機関とのキャラバン隊による合同企業訪問:5件、企業訪問:464件、地域経済雇用合同連絡会議:4回、経営実態調査:2回、メールマガジンの発行:24回、買い物弱者実態調査に向けた庁内検討</p> <p>⑤生産性向上特別措置法に基づく基本計画の策定・固定資産税軽減制度の創設(計画認定89社)、地域未来投資促進法に基づく固定資産税軽減制度の創設、地域未来牽引企業(H30:3社認定、合計:9社)</p>	<p>①東信州広域連携による次世代産業創出支援</p> <p>②AI・IoT等を活用した地域振興・産業振興推進</p> <p>③意欲ある中小企業のきめ細かな経営支援</p> <p>④信州上田ブランドのブランディング促進</p> <p>⑤関係機関との連携等による実態把握及び支援</p> <p>⑥地域未来投資促進法等を活用した企業の設備投資支援</p>	<p>①開発プロジェクト立上げ・補助金申請支援:1分野、ものづくりパートナーフォーラム:2回、人材育成事業:20回、人材確保事業:6回、信州大学繊維学部研究シーズと地域企業のマッチング会(産学交流マッチング):4回、中核企業見学会:2回、HP・LINEによる情報発信:随時、エリア内コーディネートとの連携促進</p> <p>②政策研究センターとの連携によるAI・IoT等の最先端技術を活用した住民サービス向上・産業振興に向けた調査研究</p> <p>③中小企業振興条例の制定(検討委員会開催)、3商工団体連携による共同出展(予算拡充):6回以上、ものづくり相談体制共同出展(非製造業出展も対象として拡充・予算拡充):2回、域内外受発注マッチング等:130件以上、販路拡大補助金による支援:35件以上、産金官連携事業による新分野等進出支援(予算拡充):5件、新技術等開発事業による支援(予算拡充):6件、専門家派遣:10社30回、ものづくり補助金等申請支援:10件、小規模事業小口事業資金(新メニュー)等を活用した融資実行:300件、プレミアム付商品券事業による消費喚起</p> <p>④ブランディング支援事業補助金による新商品開発・マーケティング・農工商連携等支援(地酒、上田紬、農民美術、加工食品等:5件)、プレス発表会、イベント販売の実施、銀座NAGANO、東日本連携センター「まるまるひがしにほん」、ふるさと交流ショップ台東等の有効活用</p> <p>⑤商工会議所・金融機関とのキャラバン隊による合同企業訪問(随時)、地域経済雇用合同連絡会議の開催:4回、関東経済産業局・中小企業振興センター等との連携、経営実態調査の実施:2回、企業訪問:300件、メールマガジンの発行:月2回以上、買い物弱者実態調査の実施・分析・検証</p> <p>⑥先端設備導入計画策定支援(随時)、地域未来牽引事業計画策定支援(随時)、工場等用地取得事業・工場等設置に対する支援:5件</p>
2	<p>重点目標 UIJターン促進と若者等就職支援及び人材育成、雇用マッチング促進</p> <p>具体的な重点取組項目(簡条書き)</p> <p>①民間人材派遣会社との連携によるUIJターン促進事業と若者定住就職支援事業の推進</p> <p>②若年層の就職支援の推進</p> <p>③上田市版ハローワーク事業の推進</p> <p>④ものづくりキャリア教育による人材育成</p>	<p>達成状況・達成度</p> <p>①UIJターン希望者の就職相談106人うち31人就職決定、地域若者等定住就職支援事業研修生20人受入うち18人就職決定</p> <p>②就職面接会・就活フェア:4回開催、首都圏大学等への企業情報誌配布:590校、高校生・大学生へのLINEによる就職・地域情報発信、高校生・大学生インターシップ:239人マッチング、高校生事業所見学会:15校363人、就職個別相談:36回(59人)・支援セミナー:21回(299人)、自立支援カウンセリング及び保護者面談の実施による就職等19人、奨学金助成制度の検討(庁内会議2回)、首都圏大学訪問(11月)、県民学生寮訪問(2月)、首都圏での地方就職説明会</p> <p>③就職・労働相談・無料就職紹介:146件(12人就職決定)、事業所訪問:418件、再就職支援パワコンセミナー:24回、仕事の探し方講座:12回、定年退職前後手続きセミナー:5回、勤労者福祉センターの移転検討</p> <p>④教育委員会と今後の取組について協議、夏休み親子見学会の開催:4日間(参加者数180名、6企業、1大学)、ものづくり教室開催:2回(参加者数25名、長野県工科短期大学校)、ものづくり出前事業:上田地域産業展にて開催(参加者60名)</p>	<p>重点目標 地域雇用促進に向けた人材育成と就職マッチング支援</p> <p>具体的な重点取組項目(簡条書き)</p> <p>①UIJターン就職の促進</p> <p>②若年者の地元就職促進</p> <p>③就労サポートセンター(上田市版ハローワーク)事業の推進</p> <p>④キャリア教育による人材育成</p> <p>⑤上田勤労者互助会事業の充実と加入促進</p>	<p>期限・数値目標等</p> <p>①移住交流推進課・民間人材派遣会社との連携による就職支援(相談者数:120人、地域企業への就職:35人)、UIJターン就業・創業移住支援事業(新規)による移住促進、地域企業への就職:10人</p> <p>②奨学金返還支援制度の創設、民間人材派遣会社のOFF-JT・OJT研修による地域企業への就職:20人、上田職業安定協会等と連携した学生と企業とのマッチングの強化(就活フェア等開催:5回、個別相談実施:3回/月、就職支援セミナー開催:15回、LINE(SNS)による就職情報発信、高校生・大学生のインターシップ受入:300人、高校生事業所見学会:400人)、地域企業見学会・学内就職セミナーの開催、インターシッププログラム作成支援・マッチング会開催等によるインターシップ受入促進(新規)</p> <p>③関係機関と連携した就職・労働相談及び無料職業紹介:200件、地域雇用に係る情報収集・提供のための事業所訪問:450件、再就職支援セミナー開催(パワコン:24回、仕事の探し方:12回、定年退職手続き:5回)、若者キャリアステーション・シノ(待学園)と連携した若者自立支援(就職等:25人)、人権男女共生課との連携による外国人就労に係る各種支援策の検討・実施、勤労者福祉センター移転検討</p> <p>④推進委員会の開催、夏休み親子見学会の開催:4日間、ものづくり教室の開催:1回以上、ものづくり出前事業:1回以上、テレビ信州「ジョブキッズしんしゅう」事業への参画(新規)</p> <p>⑤事業所訪問を通じた福利厚生・共済事業の周知及び加入促進:事業所20社・会員50人、県内互助会会員特約施設の新規開拓:5件</p>
3	<p>重点目標 地方創生に向けた創業支援及び企業誘致・留置の推進</p> <p>具体的な重点取組項目(簡条書き)</p> <p>①創業支援プラットフォームによる創業支援</p> <p>②地域の優位性を活かした企業誘致・留置の推進</p>	<p>達成状況・達成度</p> <p>①創業支援等事業計画改定、創業支援プラットフォームによる相談:430件、創業:48人、子育て女性社会進出促進事業による子育て女性の雇用:34人、女性の創業スクール参加者:36人、女性の創業スクール卒業生によるブラッシュアップミーティング:3回、創業を目指す女性が集うミニセミナー:89人、サテライトオフィス助成制度の検討(先進地視察等)、クラウドファンディング活用に対する助成制度の創設</p> <p>②工場等用地取得事業・工場等設置事業の助成制度拡充、工場等用地取得事業・工場等設置に対する支援:3件、事業所訪問:52社、信州ビジネスマン東京への出展、宅建協会・金融機関への民有地照会:14件、工場設置事業助成金:3件、技術研修センター利活用によるIT技術者育成事業の検討</p>	<p>重点目標 上田の卓越性を生かした創業支援と企業誘致・留置の推進</p> <p>具体的な重点取組項目(簡条書き)</p> <p>①創業支援プラットフォームによる創業支援</p> <p>②企業誘致・留置の推進</p> <p>③起業家、サテライトオフィス等の誘致</p>	<p>期限・数値目標等</p> <p>①創業支援プラットフォームによる相談:300件・創業:30人・女性の創業者の相談件数:30人、クラウドファンディング活用補助金事業の実施(新規)・家賃補助・改修費補助による支援:10件</p> <p>②第二期箱置工業団地造成の推進(32年度完了予定)、インターフェンス周辺の用地活用検討、拡充制度による市内企業の工場・事務所等の設備や駐車場等の拡張への支援、企業訪問:150社、サワークのあり方検討</p> <p>③IT技術者人材育成事業(新規)に向けた市内企業ヒアリング・技術研修センター改修、サテライトオフィス促進事業(新規)による支援:1件、県「おためしカノ」・市内コワーキング施設との連携による誘致:1件、温泉街創業・出店支援事業(新規)による支援:5件</p>

重点目標一覧表

担当部局名	商工観光部
-------	-------

【平成30年度重点目標】

【令和元年度重点目標】

重点目標	持続的な観光地を目指す「稼げる観光」の推進	重点目標	「観光地・上田」の魅力アップと誘客促進	
具体的な重点取組項目(箇条書き)	達成状況・達成度	具体的な重点取組項目(箇条書き)	期限・数値目標等	
4	<p>①豊富な観光資源の活用とおもてなしの観光基盤整備</p> <p>②インバウンドの推進</p> <p>③一般社団法人 信州上田観光協会の主体的な観光事業活動の推進</p> <p>④真田ブランド等を活用した観光誘客の推進</p> <p>⑤広域観光振興事業の推進</p>	<p>①信州アバターDCキャンペーン関連PR事業の実施、「MISSION上田の魅力攻略せよ！」ホスター、パンフレット製作、SNS活用による旬の情報発信(日本タウン誌・フリーペーパー大賞優秀賞受賞)、クーポン付きグルメガイドブック改訂、別所温泉現地視察及び地元会議参画、別所温泉センター・北向観音裏観光トイレ改修、観光看板の補修等(10箇所)</p> <p>②国内インバウンド商談会参加:3回、海外キャンペーン(タイITフェア、2018台北国際旅展、シンガポールアニメ・フェスティバル)、ファミトリップ(台湾2回)、しなの鉄道パンダグッズ製作、訪日外国人向けフリーペーパー掲載(3回)、インバウンドミーティング、インバウンド研修会開催、外国語版HP・SNS運営・観光パンフレット配布(通年)、軽井沢観光協会及び長野観光コンベンションビューローとの連携強化に着手</p> <p>③国内観光キャンペーン事業(38回)、誘客商談会参加(4回)、旅タによる誘客(325人)、柳町を中心とする団体バス誘客(約700台)、町支援(兄消える等53件)信州上田おもてなし武将隊活動(上田城323回、県外キャンペーン(12回)、DMO研修会参加2回</p> <p>④信州上田観光プレゼンテーション事業(上田まつり出演、ホスターグッズ製作 春・夏・秋・冬版)、上田城千本桜まつり 25万人、上田真田まつり 15万人、上田城de夏フェスタ 1.5万人、上田城紅葉まつり(戦国GIG凱初開催) 3.5万人</p> <p>⑤真田街道推進機構(パンフレット配布等)、長野、松本、上田トライアングル連携(三市パブリシティ製作、上田-松本間バス564便:2,967人、ウルトラエンターテイン上田→長野:52人、松本→上田:69人)、上田駅案内所運営(利用者24,557人)、キャンペーン(定住自立圏、上田地域観光協議会、上信越道沿線地域連絡会、信州シムルート協議会)、北陸新幹線停車駅サミット、忍者連携(日本忍者協議会、国際忍者学会)</p>	<p>①インバウンドの促進</p> <p>②観光資源のブラッシュアップと活用推進</p> <p>③広域連携事業の推進</p> <p>④「稼ぐ観光」への体制強化</p>	<p>①海外誘客促進:外国人延宿泊者数25,000人、海外キャンペーン(台湾2回、タイ1回、カタ1回)、ファミトリップ(台湾2回、ウエルネス・グローバルサミット温泉部会:10月)、軽井沢観光協会連携事業(カタキャンペーン:6月、フランス観光開発機構イベント:5月・11月)、しなの鉄道沿線インバウンド推進協議会(フリーチケット事業)、首都圏PRキャンペーン(スカイツリー、SMBC:2回)情報発信(ホームページリニューアル:6月、SNS(twitter、facebook、instagram)活用促進、多言語パンフレット改訂:5か国語) 受入態勢整備(多言語案内看板整備:10か所、Wi-Fi整備)、手荷物一時預所設置運営(旅行会社業務提携:1月運用開始)、キャッシュレス対応の周知・啓発(観光会館売店 Origami pay:6月導入)</p> <p>②温泉地(別所温泉・丸子温泉郷)活性化支援(タウニミーティング参加:月1回、空き家空き店舗等活用支援(商工課連携)、塩田の館の展示内容リニューアル検討 観光団体バスツアー誘致(団体バス補助金事業(新規):1月~3月、柳町との連携強化、観光ガイド育成事業:6月開始) マコワイパー活用による旅行商品開発(広域行政間連携促進 しなの鉄道・旅タ等との活用) 信州上田フィルムコミッション事業(サマウオーズ10周年記念事業:4~9月、映画「兄消える」誘客促進 町地マップ製作他:5月開始) 誘客イベント開催(信州上田まつり実行委員会イベント 春・夏・秋、市民まつり実施、国際忍者学会:9月、うえだ鉄道まつり:10月、食のおもてなし事業:観光シーズン)</p> <p>③東日本連携(支援センター活用、誘客促進)、トライアングル連携(広域サイクリング連携、ユニバーサルリズム事業市内調査、松本直行バス運行 3,500人、信州花フェスタ2019:4月~6月、真田街道推進機構等連携(お城EXPO:12月)</p> <p>④(一社)信州上田観光協会の体制強化(専任事務局長配置、収益事業強化(会員及び協賛団体の加入促進)) 地域おこし企業人の登用(派遣元との協定締結:7月、派遣開始:8月)、戦略ブランド骨子策定:3月(観光誘客、ブランディング、ワーケーション促進) 信州上田おもてなし武将隊事業促進(観光キャンペーン20回、戦国GIG:11月) 旧石井鶴三美術館の活用検討</p>
5	<p>①まちなか創業空き店舗活用事業の実施</p> <p>②真田十勇士ガーデンプレイス等を拠点とする上田まちなか交流事業の促進</p> <p>③商店街及び各個店に関する情報発信の充実</p> <p>④池波正太郎真田太平記館の魅力発信と関係機関・商店街等との連携による市街地活性化の促進</p>	<p>①チャレンジショップ「豆の木」の開設(2店舗営業中)、店舗賃借料補助:3件、まちなか業種別アドバイザーによる相談:5回、空き店舗見学会の開催:2日間、まちなか創業セミナーの開催:3回</p> <p>②真田十勇士ガーデンプレイスにおけるまちなかイタリ展・まちなかディスプレイ展の開催、イタリを学ぶ連続講座の開催:5回、商店街への歓迎ハズリ等の掲出、イベント開催時における食の提供と優待券の配布</p> <p>③総合ウェブサイト「上田まちなか商店街」における店舗情報等の更新、掲載店舗数:49店舗(13店舗増加)、フェイスブック・ツイッターによる情報発信</p> <p>④企画展、写真展の開催:4回(うち1回は開館20周年特別企画として実施)、コンサート・文学散歩の開催:2回、空調設備の更新、年間入館者数:17,481人</p>	<p>①第二期中心市街地活性化基本計画後の方針検討</p> <p>②まちなか創業空き店舗活用事業の推進</p> <p>③真田十勇士ガーデンプレイス等を拠点とする上田まちなか交流事業の促進</p> <p>④池波正太郎真田太平記館の魅力発信と関係機関・商店街等との連携による市街地活性化の促進</p>	<p>①中心市街地活性化協議会・庁内意見交換会による第二期基本計画検証、方針及び独自ブランド策定検討</p> <p>②上田商工会議所・商店街等との連携によるチャレンジショップ「豆の木」の運営、店舗賃借料補助の実施、まちなか業種別アドバイザー制度の実施、空き店舗見学会の開催:1回以上、まちなか創業セミナーの開催:4回</p> <p>③うぐいすワールドカップ及び2020年東京オリンピック大会をテーマとする企画展示の実施、イタリ交流セミナーの開催:3回、まちなかイタリワインフェスタ・地酒フェスの開催、商店街等によるイベントの開催支援・販売促進支援</p> <p>④企画展・写真展の開催:4回、サロトーク・文学散歩の開催:4回、土蔵壁改修、商店街等との連携促進、SNSを活用した情報発信、池波正太郎真田太平記館「友の会」の活性化</p>